

科目名	包帯 2							年度	2024
英語科目名	Bandage 2							学期	後期
学科・学年	柔道整復科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	難波英樹	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）		
【科目の目的】									
骨折などの整復位を安静に固定するための知識と技術を習得することを目的とする。									
【科目の概要】									
柔道整復師に必要な包帯の巻き方について学びます。									
【到達目標】									
アルミ副子や厚紙副子の作製法、熱可塑性キャスト材の使用方法和注意点、各関節の固定方法を実践的に活用できることを目標とする。									
【授業の注意点】									
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	アルミ副子について正しい知識と適切な使用方法を完全に理解している。	アルミ副子について正しい知識と適切な使用方法を大体理解している	アルミ副子について正しい知識と適切な使用方法を部分的に理解している。	アルミ副子について正しい知識と適切な使用方法に対する理解がやや不足している。	アルミ副子についての正しい知識と適切な使用方法を理解していない。				
到達目標 B	熱可塑性キャスト材について正しい知識と適切な使用方法を完全に理解している。	熱可塑性キャスト材について正しい知識と適切な使用方法を大体理解している	熱可塑性キャスト材について正しい知識と適切な使用方法を部分的に理解している。	熱可塑性キャスト材について正しい知識と適切な使用方法に対する理解がやや不足している。	熱可塑性キャスト材についての正しい知識と適切な使用方法を理解していない。				
到達目標 C	厚紙副子について正しい知識と適切な使用方法を完全に理解している。	厚紙副子について正しい知識と適切な使用方法を大体理解している	厚紙副子について正しい知識と適切な使用方法を部分的に理解している。	厚紙副子について正しい知識と適切な使用方法に対する理解がやや不足している。	厚紙副子についての正しい知識と適切な使用方法を理解していない。				
到達目標 D	三角巾の提肘について正しい知識と使用方法を理解している。	三角巾の提肘について大体理解している。	三角巾の提肘について部分的に理解している。	三角巾の提肘についての理解がやや不足している。	三角巾の提肘について理解していない。				
到達目標 E	骨折・捻挫等について適切な固定を行うことができる。	骨折・捻挫等について適切な固定を概ね行うことができる。	骨折・捻挫等について適切な固定の必要性は理解している。	骨折・捻挫等について適切な固定の必要性への理解がやや不足している。	骨折・捻挫等について適切な固定の必要性を理解していない。				
【教科書】									
教科書（包帯固定学一般社団法人全国柔道整復学校協会監修一）に準拠する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		包帯 2			年度	2024
英語表記		Bandage 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	アルミ副子について	金属副子の種類について理解する。	1 クラメル金属副子	クラメル金属副子について理解する。	3	
			2 東大式金網副子	東大式金網副子について理解する。		
			3 アルミ副子	アルミ副子について理解する。		
2	アルミ副子固定のポイント	アルミ副子による固定について理解する。	1 アルミ副子の幅や長さ	幅や長さの種類について理解する。	3	
			2 アルミ副子の構造	アルミ板にスポンジを貼り合わせた構造であることを理解する。		
			3 アルミ副子の用途	主に手指の骨折・脱臼・軟部組織損傷の固定に用いられることを理解する。		
3	熱可塑性キャスト材について	熱可塑性キャスト材について理解する。	1 ロール状・板状	キャスト材がロール状と板状に大別されることを理解する。	3	
			2 作成の注意点	キャスト材を作成する際の注意点について理解する。		
			3 固定方法	キャスト材で固定する方法について理解する。		
4	厚紙副子について	厚紙副子の基本について理解する。	1 特徴	厚紙副子の特徴について理解する。	3	
			2 原理	厚紙副子の原理について理解する。		
			3 目的	厚紙副子の目的について理解する。		
5	手指（PIPJ）や腱鞘炎のテーピング	手指や腱鞘炎のテーピングについて理解する。	1 手指のテーピング	手指のテーピングの注意点について理解する。	3	
			2 腱鞘炎のテーピング	腱鞘炎のテーピングの注意点について理解する。		
			3 テーピング方法	手指や腱鞘炎のテーピング方法について理解する。		
6	鎖骨骨折のポイント①	鎖骨骨折の原因・症状・診断について理解する。	1 鎖骨骨折の概要	鎖骨骨折の概要について理解する。	3	
			2 鎖骨骨折の原因	鎖骨骨折の原因について理解する。		
			3 鎖骨骨折の症状	鎖骨骨折の症状について理解する。		
7	症例報告と三角巾	鎖骨骨折の実際と三角巾の活用について理解する。	1 鎖骨骨折の頻度	鎖骨骨折の発生頻度について理解する。	3	
			2 鎖骨骨折の外観	鎖骨骨折の外観上の特徴について理解する。		
			3 三角巾の活用	三角巾の活用方法について理解する。		
8	振り返り	後期1回～7回の講義の振り返り。	1 アルミ副子	アルミ副子について理解する。	3	
			2 熱可塑性キャスト材	熱可塑性キャスト材について理解する。		
			3 テーピング	テーピングについて理解する。		
9	鎖骨骨折のポイント②	鎖骨骨折の検査・診断・治療について理解する。	1 鎖骨骨折の検査	鎖骨骨折の検査方法について理解する。	3	
			2 鎖骨骨折の診断	鎖骨骨折の診断方法について理解する。		
			3 鎖骨骨折の治療	鎖骨骨折の治療方法について理解する。		
10	肩関節脱臼の固定方法①	肩関節脱臼の概要・発生機転・症状について理解する。	1 肩関節脱臼の概要	肩関節脱臼の概要について理解する。	3	
			2 肩関節脱臼の発生機転	肩関節脱臼の発生機転について理解する。		
			3 肩関節脱臼の症状	肩関節脱臼の症状について理解する。		
11	肩関節脱臼の固定方法②	肩関節脱臼の検査・治療・固定方法について理解する。	1 肩関節脱臼の検査	肩関節脱臼の検査方法について理解する。	3	
			2 肩関節脱臼の治療	肩関節脱臼の治療方法について理解する。		
			3 肩関節脱臼の固定方法	肩関節脱臼の固定方法について理解する。		
12	厚紙副子の様々な作製と固定例	厚紙副子を用いた固定方法について理解する。	1 厚紙の性質	厚紙の性質について理解する。	3	
			2 採寸と裁断	厚紙の採寸・裁断について理解する。		
			3 耐久性向上法	耐久性向上法について理解する。		
13	肘関節後方脱臼の固定法	肘関節後方脱臼の原因・症状・治療・固定法について理解する。	1 原因と症状	肘関節後方脱臼の原因と症状について理解する。	3	
			2 治療法	肘関節後方脱臼の治療方法について理解する。		
			3 固定法	肘関節後方脱臼の固定方法について理解する。		
14	振り返り	後期9回～13回の講義の振り返り。	1 鎖骨骨折	鎖骨骨折のポイントについて理解する。	3	
			2 肩関節脱臼	肩関節脱臼の固定方法について理解する。		
			3 肘関節後方脱臼	肘関節後方脱臼の固定方法について理解する。		
15	救護の症例紹介	災害現場などで柔道整復師が行う救護活動の事例を理解する。	1 活動した被災地例	被災地での活動例について理解する。	3	
			2 傷病者の状況	災害現場における傷病者の状況について理解する。		
			3 柔道整復師の救護例	災害による傷病者への柔道整復師としての対応		

評価方法：1. 小テスト、34. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等